

2023年新年特別号

保険のご相談は(株)東時へ

明けましておめでとうございます。

第1部:Quality2023(カラー版)
第2部:我が社のブランド戦略
各界の年頭所感(一部1月15日に掲載します)

本社:03-5817-0353 西日本支社:06-6252-4477

THE WATCH & JEWELRY TODAY

ウォッチ&ジュエリー トゥデイ



発行所(株)時計美術師新聞社
編集発行人 藤井正哉
〒110-0015 東京都台東区東上野1-26-2
ジュエラーズタウン・オールド508
TEL.(03) 3833-1896 FAX.(03) 3833-1717
http://www.e-tkb.com

毎月1日・15日発行
年間購読料8500円/1部450円
振替口座00190-3-57579



Dia Flore

ファンシーカラー ダイヤモンド

〒104-0045 東京都中央区築地7-5-3 紀文第1ビル6階
Tel.03-5565-3001(代) http://www.akei.com/



一般社団法人 日本時計協会
会長
内藤 昭男

昨年は3年連続でコロナ禍での事業活動となりましたが、日常の活動を取り戻すための取り組みにも苦心した一年となりました。

基幹事業のひとつである技術標準化関連では、依然対面での国際会議開催はかなわず、時差による会議時間の制限もあって主要国をリモートで結ぶオンライン会議の開催頻度が増しましたが、各審議テーマごとに事前に十分な準備を行って日本の提案内容をISO規格開発に反映させるよう取り組みました。

次世代育成推進事業では、コロナ禍での制約はありながら第60回技能五輪全国大会が有観客で開催され、「時計修理職種」に参加する若手技能者への積極的な指導、支援を実施致しました。

また、将来を担う子どもたちに時計への関心・興味を持たせる活動としては、2017年から継続している東北被災地の小中学生を対象にした時計組立教室を今年も開催し、大変好評でした。さらに8月には、3年ぶりに霞が関子ども見学デーとして「目覚まし時計組立教室」も開催することができました。

知的財産権関連では、昨年に続いて中国時計協会との間で侵害の状況と保護に向けた対応に関する会議をリモートで開催し、ECサイトでの模倣品販売への対応や、巧妙化、複雑化する侵害状況に関する情報を共有し、継続的な協力体制を確認しました。

本年は、技術標準化事業としては4年ぶりに対面でのISO国際会議がスイスで予定されています。国際規格制定・改正作業に

付加価値商品と顧客視点

において積極的な提案を行い、日本のインシアチブを発揮していく所存です。

また、コロナ禍で開催が延期されている国際交流事業への参画準備も進めてまいります。同時に産学共同プログラムや被災地復興支援における時計組立教室の開催などの社会貢献活動にも引き続き積極的に取り組む計画です。

さて、昨年の世界経済は、新型コロナウイルス発生以降堅調な回復傾向を見せてきましたが、ロシアのウクライナ侵攻に端を発したエネルギーコストの上昇、世界的な物価高騰など、数十年に一度起こるかどうかと思われるような課題に直面しました。国内経済においては、経済活動の正常化により持ち直し傾向にはあるものの、物価高による下振れ要因が懸念されます。

このような内外の経済情勢の中で、我が国の時計産業は、協会統計によりますと、昨年のウォッチ完成品販売は、数量で105%、金額で117%と前年を上回る見込みです。また、クロック完成品は前年比数量で91%、金額で前年並みとなる見込みです。今後は行動抑制策の緩和による経済活動の活性化が期待される一方、ロシアのウクライナ侵攻が長期化する中、欧米経済の成長鈍化、不安定なエネルギー市場といった逆風も予想されます。各会員企業においては、あらためて国際競争力が試される局面にあると考えられます。従来にも増して製造と流通の強化を図りながら、より付加価値の高い商品開発と顧客視点に立ったサービスを提供し、内外への発信力も含めたブランド戦略の強化に一層力を注いでまいります。



一般社団法人 日本時計輸入協会
理事長
堀田 峰明

業界の健全な発展のために

世界的なパンデミックからもうすぐ丸3年となりますが、このコロナ禍において各ブランドが改めてそれぞれの歴史やフィロソフィー、独自の技術などを見つめ直し、本質的なブランド価値を体現するモデルを多々打ち出しました。また、危機を脱するため各ブランドが、独自の技術などを見つめ直し、本質的なブランド価値を体現するモデルを多々打ち出しました。

また、危機を脱するため各ブランドが、独自の技術などを見つめ直し、本質的なブランド価値を体現するモデルを多々打ち出しました。また、危機を脱するため各ブランドが、独自の技術などを見つめ直し、本質的なブランド価値を体現するモデルを多々打ち出しました。

また、危機を脱するため各ブランドが、独自の技術などを見つめ直し、本質的なブランド価値を体現するモデルを多々打ち出しました。また、危機を脱するため各ブランドが、独自の技術などを見つめ直し、本質的なブランド価値を体現するモデルを多々打ち出しました。

業界の健全な発展のために

コロナによる受検回避をされた方が多数に上ったことにより3000名に届きませんでした。本年はその達成を期待しております。そして来年1月の試験より、試験会場を東京・大阪の2都市間開催から、新たに福岡でも行うべく準備を進めております。

また、CWCの資格保持者が最もお客様や友人にお勧めしたい時計を選ぶIWY(インポート・ウォッチ・オブ・ザ・イヤー)ですが、メンズはオメガ・スピードマスター、レディースは、オメガ・デ・ヴィル・ミニトレストラ、一番輝いているブランド賞もオメガと、オメガが3冠となり、1月11日に開催予定の常務会ニューイヤーパーティにて表彰式を行う予定です。

恒例となりました6月10日「時の記念日チャリティオークション」では、子供たちの学びを支援する「あしなが育英会」様に支援金をお贈りすることができ、本年も引き続き実施して参ります。

そして61冊目となる時計ブランド年鑑2023年版を先月発行いたしました。毎年同じフォーマットで各ブランドの哲学やものがたり、代表的なモデルが原寸大で示され、あわせて矢野経済研究所の市場動向と今後の展望や、ジャーナリスト渋谷サキ氏によるその年の代表的な新作を取り上げてのコラム、経済産業省、東京税関、ユニオン・デ・ファブリカンの知的財産侵害物品対策に加え、今号では2年ごとに行われるスイス時計協会FHIによる腕時計に関する消費者意識調査-2022ダイジェスト版も掲載されており、時計産業/市場に関するご理解をより深め、より広い視野を獲得いただけるものとなっておりますので、多くの業界人の皆様にぜひ一読いただければ幸いです。



全日本時計師眼鏡小売協同組合
理事長
大西 勝一

協同組合という組織を最大限に活用し“おたがいさま”の精神を発揮した商いを

昨年はコロナ感染拡大3年目となりコロナに対する国民の考え方も変わり、政府の方針もウイズコロナの時代に向けて経済活動、コロナ対策との両建に方向転換をしております。組合員の皆様のお店も徐々にではありますが、お客様を取り戻すにつつあるのではないかと推察いたします。しかし世の中の環境はネット販売、宅配やキャッシュレス化、無人店舗やハイブリッド店舗など、販売方法も多様化して、店舗の在り方など様々な状況の変化も見えてきています。

その中でもジョウ・ジャパンの組合員店は全国のそれぞれの地域に根差したお店です。コロナ禍の中で行動が制限され、地元のお店の大切さを実感しているお客様が増えている中で自店が地域の中でどうあるべきかを考える2023年は大切な一年になるのではないかと思います。

秋には消費税のインボイス制度の導入もあり、これに対してもしっかりと対策を講じていかねばなりません。昨年一年を見て積極的に攻めの商売をしているお店が売上げを落とさずに前年より売上げを伸ばしているお店もご紹介します。私どもの組合員店は全国のそれぞれの地域に密着したお店の集まりです。今、地域のお客様に「いざという時にお役に立ち、相談できるお店」として私たちがやるべきことはお客様との絆を深め、信頼関係をさらに強め、地

元の小売業としての役割を大切にしたいとすることはではないでしょうか。地域の生活文化と伝統の継承を大切に、地域密着という強みを生かした商いをすることがあらためて求められていると思います。

一人の力では難しいことでも幸い私たちは全国組織の協同組合としてのジョウ・ジャパンがあります。協同組合という組織を活用することで一人ひとりでは弱い存在ですが皆で助け合っていくことが大きな力になり、日本が昔から受け継がれてきた“おたがいさま”という精神を今一度発掘しなくてはなりません。組合の共同事業としてはすでに時の記念日のポスター制作や時計修理技能資格の取得サポート、時計カタログの配布、業界の様々な情報を知ることのできる機関誌「新報」等々があります。また、取り扱えない時計修理や部品の調達ができない修理など組合のシステムを使えばできるようになることがあります。

今こそ協同組合の意義、役割を考えよう活用するかを再考する時期だと思えます。

2023年はうさぎ年、癸卯の年となり、「癸」と「卯」の組み合わせからこれまでの努力が実を結び、勢いよく成長飛躍する年になるようです。本年も組合員の皆様のご意見やお知恵をいただきながらご協力をお願い申し上げ、ともに前進して参りたいと存じます。



一般社団法人 日本ジュエリー協会
会長
小山 藤太

重点施策を確実に推進

さて、昨年はコロナ禍の終息が見えない中、感染対策と並行してウイズコロナ下の経済社会活動の正常化が進められ、水際対策の緩和と円安によるインバウンド需要の回

復れも強まり、さらなる国内景気の持ち直しへの期待が高まりました。一方、原材料価格の上昇による物価上昇等の影響による景況の減速リスクは払拭できず、本年も厳しい市場環境が続くものと考えており、ジュエリー業界全体にもそのリスクの影響が影を落とすとしていくものと捉えております。

この様な市場環境の中、日本ジュエリー協会としては、本年も引き続き「消費者信頼の向上策充実」「人材育成策の強化」及び「業界活性化策の充実」

の三項目を重点施策として地道に推進し、市場環境の改善に少しでも貢献できるよう取り組んでまいります。

まず消費者信頼の向上策として、信頼向上のための消費者情報等の業界全体への積極的な開示並びに消費者への啓発活動を推進していくことによる業界活性化の基盤づくりに寄与していきます。次に人材育成策として、技能競技大会への協力等を通じて若年層を中心とした技能者への支援を強化し、さらに、ジュエリーコーディネーター資格者に対する制度充

実と資格者拡大により、ジュエリー業界の基盤拡充を図っていきます。最後に業界活性化策につきましては、国内外における業界活性化に向けた展示会事業の充実と公式インスタグラム活用等の広報活動の充実による、業界情報の国内市場への発信力の強化、さらに、NIPPONの真珠・アコヤ真珠の販売促進として他団体とのコラボ企画の充実、並びに、ブライダルに特化した天然ダイヤモンドの普及活動を推進していくことにより、継続的で地道

な事業活動を通じて業界活性化に寄与できるよう取り組んでまいります。

以上、社団法人としての基本的な考え方からはずれることなく、市場環境の変化には迅速に対応した施策を地道に実行していくことにより、業界活性化に向けた上記施策を確実に推進してまいります。

THE LAZARE DIAMOND
The world's most beautiful diamond.
WWW.LAZAREKAPLAN.CO.JP
ラザール・キャプラン・ジャパン TEL.03-3839-7421

村田宝飾 MURATA JEWELRY
The Jewelry Concierge
村田宝飾株式会社 https://www.murata-jewelry.co.jp E-mail info@murata-jewelry.co.jp
TEL 03-5807-4345 FAX 03-5807-4346

2023 HAPPY NEW YEAR
Kuwayama

意匠登録済・特許申請済
プチギユット イヤリング
◆無段階調節イヤリング
◆耳あたりが落ちにくい設計
◆長時間着用しても痛くない構造
◆デザインバリエーション豊富
国内パーツシェアNo.1 KOHSAI
株式会社 光・彩
本社：山梨県甲斐市竜地 3049 番地
TEL:0551-28-4181
東京オフィス：東京都台東区上野
5-16-10 小林ビル 3F
TEL:03-6806-0940
楽天ショップ OPEN
パーツ1つからでも
購入可能！
今すぐチェック
https://www.rakuten.ne.jp/gold/kohsai/event/business-sale/

for you forever UCHIHARA
株式会社 国太
東京本社
東京都港区六本木 7-2-7
〒106-8518
TEL.03-3478-0301
大阪支店
大阪府浪速区難波中 2-10-70
なんばパークス パークスタワー 11F
N-1103 〒556-0011
TEL.06-6648-0401
GEM TRUST
ジェムトラスト推進室
0120-25-1837
http://www.gem-trust.com
SA*BIRTH
The Brilliance from Southern Africa

国際宝飾展も出展します
前回も大々好評だった!!
ものづくりフェス
楽しい 全員集合 学べる
職人・学生 近隣の皆様も
お越しください
2023 東京
2023年1月11日(水)~1月14日(土)
SEA FORCE シーフォース株式会社
〒110-0016 東京都台東区台東4-18-12 TEL:03-5846-8666(代表) FAX:03-5817-1544
info@seaforce.co.jp www.seaforce.co.jp